

平成 29 年度 基礎医学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

大島 稔、大西基代、檜葉 均、東家一雄、戸田静男、深澤洋滋（五十音順）

B. 研究活動の概要

基礎医学ユニットは、解剖学、生理学、薬学および東洋医学基礎を専門領域として活動するメンバーにより構成されている。そのため、メンバーは各専門領域に関する研究テーマを中心に研究活動を行っている。以下に各メンバーの研究テーマを紹介する。

1. 大島 稔
視床—皮質投射系の研究
2. 大西基代
抗酸化物質の検体検査への影響について
3. 檜葉 均
脊髄後角における疼痛伝達及び鎮痛機構の形態学および電気生理学的解析
4. 東家一雄
リンパ系組織を対象とする機能形態学的研究
5. 戸田静男
東洋医学についての古医書からの研究
6. 深澤洋滋
神経障害性疼痛の発症機序の解析

C. 研究業績

1. 著書・原著

Ohshima M, Itami C, Kimura F. The α 2A -adrenoceptor suppresses excitatory synaptic transmission to both excitatory and inhibitory neurons in layer 4 barrel cortex. *J Physiol*. 2017;595 (22) :6923-6937.

Saika F, Kiguchi N, Wakida N, Kobayashi D, Fukazawa Y, Matsuzaki S, Kishioka S. Upregulation of CCL7 and CCL2 in reward system mediated through dopamine D1 receptor signaling underlies methamphetamine-induced place preference in mice. *Neurosci Lett*. 2018;665:33-37.

若山育郎, 石崎直人, 齊藤宗則, 深澤洋滋, 増山祥子. WFAS 30 周年記念総会及び学術大会 (中国・北京) 参加報告. *全日本鍼灸学会誌*. 2018;68 (1) :4-14.

深澤洋滋. WFAS 北京 2017 —30 周年記念総会および学術大会一. *鍼灸 OSAKA*. 2018. 印刷中

2. 総説

戸田静男. 眼精疲労への鍼灸治療. *医道の日本*. 2017;2:54-58.

戸田静男. 甘草と炙甘草の修治について 本草書からの考察. *関西医療大学紀要*. 2017;11:1-9.

3. 学会発表・学術講演

戸田静男. 養生書から見る (1) 『頤生輯要』における灸法について. 全日本鍼灸学会近畿支部会. 大阪. 2017.11.

戸田静男. 吉益東洞の「死生」についての一考察. 日本生命倫理学会第 29 回年次大会. 宮崎. 2017.12.

伊藤俊治, 深澤洋滋, 荒川裕也, 紀平為子. 低亜鉛が神経・筋に及ぼす影響のマウスを用いた予備的検討 紀伊半島南部多発地 ALS に着目して. 第 28 回日本微量元素学会学術大会. 仙台. 2017.7.

4. 研究費獲得状況

深澤洋滋 (研究分担者): ニコチンシグナルを介したマクロファージ依存的炎症性疾患の新規治療戦略. 文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 C、平成 27 年～ 29 年度、課題番号 15K10563)

基礎医学ユニット: 変形性膝関節症に伴う疼痛の分子基盤の解明. 関西医療大学共同研究費 (平成 28 年～ 29 年度)

D. 社会活動・その他

東家 一雄: 日本解剖学会評議員

戸田 静男: 日本東洋医学研究機関連絡協議会常任理事
和漢医薬学会評議員

深澤 洋滋: 全日本鍼灸学会国際部員